

広報

みしま

mishima

中学1・2・3年生のみなさんへ

中学生特別号

2024

自分の未来×まちの未来

みんなのまち『三島』を知って

未来について考えてみよう



三島のこと

p 2

わたしたちの【道のり】
三島 de 『○○』

p 3

『未来に向かっていく
みんなへメッセージ』

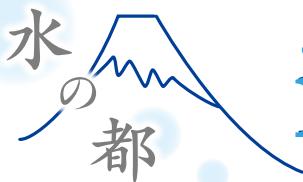
p 6

三島のいいね♪

p 4

『Mishima』という
星があることを知っていますか?

p 8



introduction

三島のこと 知っていますか？

みしまコロッケ

なぜ三島の名物？



市の特産品である「三島馬鈴薯」というじゃがいもを使用したものが「みしまコロッケ」です。馬鈴薯のB品を有効活用しつつ、観光客の皆さんにも地元食材をPRしたいという想いから、食べ歩きができる「コロッケ」が誕生しました。「素材に自信あり」なので、「みしまコロッケ」の定義は、「三島馬鈴薯を使用する」これだけです！



みしまコロッケの会
会長 渡邊 靖乃さん

あ

のゼリー飲料が

三島で作られてるって本当？



そうなんです。森永製菓の三島工場では、複数の「inゼリー」を生産しています。三島工場では、井戸を2つ所有していて、富士山系と箱根山系の天然の地下水が湧き出しています。年間を通じて水温も低く、「とにかくおいしいお水」なんです。「inゼリー」は、そのお水を使用して作っていて、三島工場の主力商品の一つとなっているんですよ！

森永製菓株式会社 三島工場
工場長 川馬 利広さん



三島のアレコレを
少しだけご紹介します！



三島市長 豊岡武士

源兵衛川

なんで「源兵衛川」？



室町時代に三島の町の有力者、寺尾源兵衛によってつくられたといわれています。街なかを流れる源兵衛川は市民の皆さんの憩いの場となっていますが、本来の用途は農業用水です。小浜池を起点に中郷温水池に流れ込み、そこからは何本もの用水路に分かれれて中郷地域の田んぼを潤しているんですよ！



三島市郷土資料館
辻 真人 館長

楽寿園

いつからあるの？



現在の楽寿園の場所には、江戸時代、神社やお寺が点在しており、富士山からの湧水が豊富なこの地を皇族の小松宮彰仁親王が気に入られ、明治23年に別荘を作りました。その後、昭和27年に市立公園楽寿園となり、小浜池、楽寿館の他にさまざまな動物を飼育したり、遊具を設置したりしているんですよ！



三島市立公園 楽寿園
渡辺 哲也 園長

三島市内で開業したみなさんに、三島市で○○を始めた経緯
～道のり～などをお聞きしました。



【オープンまでの道のり】

高校生時の実習や職場体験がきっかけでパン屋さんになろうと決めました。

高校卒業後、東京の専門学校で一緒に働いている奥さん（通称：メスカニ）や素敵な仲間たちとパン作りの技術を学びました。

駅構内のお店や路面店、セントラル工場など約10年間の修行をして、2020年に三島でお店をオープンしました。



三島 de 『パン屋』さん

～かにかぞく～(谷田)



えじま しょうた
江島 尚太さん
(出身:三島市)

【三島に決めた理由・三島のいいところ】

パン屋さんを目指した最初のきっかけが地元のお店での体験だったこともあり、知り合いや友達もたくさんいる三島でお店を始めようと決めました。

サニーレタス、トマト、バジルなど、お店のパンに使っている三島の野菜はどれも新鮮で本当に美味しいです！これからも三島の旬の野菜を使ったパンを増やしていきたいと思います。



～地域に密着したパン屋さんに～

先日、メスカニさんが子ども向けのパン教室を開きました。かにかぞくのパンを食べたり、パン作りの面白さを知って、将来パン屋さんになりたいなと思ってくれるお子さんが出てくれたら嬉しいです。

【オープンまでの道のり】

高校生の時、甘いものを食べるのが好きでパティシエに興味をもちました。

専門学校卒業後、東京、神戸のパティスリーに8年間、その後フランスのパティスリーで3年間修行した後、福岡や京都の製菓部門でシェフを務めました。

2017年に三島でお店をオープンし、デリ・お惣菜の販売を、2019年にお菓子の販売をスタートしました。



三島 de 『お菓子屋』さん

デリシュー
～Delicieux～(泉町)



ささき てつぱい
佐々木 鉄平さん
(出身:神奈川県)

【三島に決めた理由・三島のいいところ】

新幹線の駅もあり、実家のある神奈川へのアクセスの良さに加えて、豊かな自然、新鮮でおいしい野菜や果物、そしてきれいな水、こんな素敵な環境で子育てがしたいと思い、三島に決めました。

食への関心が多く、温かい言葉をかけてくれたり、野菜をおすすめ分けしてくれたり、応援してくださる皆さんに囲まれて、三島でお店を出して本当に良かったと思います。



～安心でほっとするお料理づくりを～

皆さんに笑顔と元気をいただき今年で7周年を迎えます。これからも、私たちの作るケーキで”おいしい！かわいい！たのしい！”と皆さんが笑顔になるようなほっとするお料理作りを心がけていきます。

ひと、まち、自然、文化...
みなさんが教えてくれた

三島のいいね♪

三島大社
野口さん



伊豆箱根鉄道駿豆線運転区
栗田さん



みしまプラザホテル
阿部さん



三島市福祉応援大使
めんぱーくん



シンガーソングライター
たなかみどりさん



三島消防署北分署
安藤さん



三島市民体育館
井草さん



三島中央町郵便局
千葉さん



市立図書館（ジンタ号）
志村さん



野菜生産者
川崎さん



三島スカイウォーク
野田さん



伊豆日日新聞 記者
北島さん



静岡新聞 記者
岡田さん



CATVトコチャンキャスター
植田さん



三島警察署
佐野さん





絵本作家
えがしらみちこさん

三島市で実施している
『水の都三島で子育て』プロモーションの
イメージイラストを制作

三島は歴史と文化の香るステキな街です。気さくであたたかな人が多く、緑豊かでお水がきれい。ほどよく田舎で、ほどよく人の活気もあるバランスの良い街だと思います。そんな三島の四季の風景と子どもたちの笑顔をイラストにしました。

みんなの
いいねは

三島のいいね♪

なんですか？



宮澤さんにとての「三島市」



静岡市の高校に入学して寮生活になったので、中学生まで三島市で過ごしました。20歳くらいまで、三島の夏まつりにも出かけていたのがいい思い出です。小さい頃から過ごしてきた場所なので、地元の三島が大好きです。上京したての頃は早く三島に帰りたいなんて思っていました。

どんな子ども・学生でしたか？

小学校3年生でサッカーの少年団に入ってから、中学、高校とサッカー漬けの毎日でした。子どもの頃から、やりたいことや自分が熱中できることはトコトンやるタイプで、妥協たくないし、負けたくないなって思っていました。その気持ちは今も変わりません。

これから の目標は？

俳優として沢山の作品に出る事が目標ではありますが、ずっと地元の三島市で仕事がしたいと思っていたので、今回広報みしまに掲載させていただける事が嬉しいです。次は三島市にもっと貢献できるような事ができればと思っています！

宮澤佑さんからメッセージ

学生時代から今も、いろいろな人に苦労や迷惑をかけたりしましたが、そんな時、周りの方々の支えがあったからこそ、今、俳優としての自分がいるんだと思っています。皆さんも、『今、自分の周りにいる人、自分を見てくれている人』を大切に過ごしてください！



俳優

みやざわ ゆう
宮澤 佑 さん

三島市出身（29歳）。株式会社G-STAR.
PRO（ジースター・プロ）所属の俳優。現在、
テレビ朝日系列で放送中の『爆上戦隊ブン
ブンジャー』に焰先斗/ブンバイオレット役
で出演中。



弦間さんにとての「三島市」



大学は都内でしたが新幹線通学で、卒業までの22年間を三島で過ごしました。文教町のイチョウ並木を歩道橋から見るのが大好きで、今も黄葉の季節になると写真を撮りに行きます。静岡で再就職してもうすぐ2年となる今、かなりの頻度で三島に戻り、お世話になってきた多くの方々や街並みに触れて癒されています。

どんな子ども・学生でしたか？

好奇心と食欲が旺盛で、ピアノに英会話、書道をはじめ、生け花や水泳、中国語など、やりたいと思ったことは何でもやりました！小学1年生で始めたシャギリは今も続けていて、三島大祭りが楽しみで仕方ありません。誰かが笑ってくれる瞬間が嬉しくてお笑い芸人さんにもなりたいと思っていました。

これから の目標は？

友人に三島を案内するたびに「すごくいいところ」と言ってもらいます。地元の皆さんにはもちろん、縁のなかった人にも、いいところ、よりどころに感じてもらえるように三島の魅力を伝えていきたいと思います！



アナウンサー

げんまあやか
弦間 彩華 さん

三島市出身（28歳）。大学卒業後、2019年にIBC岩手放送にアナウンサーとして入社。2023年1月にテレビ静岡に入社し、現在「ただいま！テレビ」などを担当。

弦間彩華さんからメッセージ

夢があるって、アツいです。この先どう歩んでいくか考えると、ワクワクしたり、不安になります。夢がないって、無限大です。どうにでも未来を描けます。これから「節目」や「変化」の時を迎えたとき、今皆さんの周りにあるものや何気ない景色が心の支えになることもあります。あなただけの素敵な瞬間を見逃さず、いつまでも大切にしてください！





『未来に向かっていいくみんなへメッセージ』



大相撲力士 熱海富士 肘太郎さん

熱海市出身（22歳）。伊勢ヶ濱部屋所属の幕内力士。西前頭三枚目（令和6年11月場所）。2020年初土俵、2022年入幕。小学6年生から三島相撲クラブで稽古に励んでいた。

熱海富士にとっての「三島市」

小・中学生のころは、週4日の稽古に自宅のある熱海市から三島市へ通っていました。高校生の時には、三島相撲クラブの杉山さん（右写真）のところに下宿させてもらい半年ほど三島で生活し、通学していました。ですので、三島は高校時代を過ごした思い出の場所です。



どんな子ども・学生でしたか？

「やることはしっかりやる」「それが嫌なことでもしっかりやる」性格だったかなと思います。小学生の頃から体も大きかったので、親にすすめられて三島のわんぱく相撲に出場したのが相撲を始めたきっかけでした。その大会で優勝して全国大会に出ましたが、負けてしまい、悔しくてその後も相撲を続けました。大相撲をしっかり目指すようになったのは、高校生になってからです。

これからの目標は？

静岡県初の三役を目指して一日一日を頑張ります！そして、地元の静岡をもっともっと盛り上げていきたいです！

熱海富士からメッセージ

これから大人になっていくにつれて、周りを気にしたり、遠慮したりすることが増えてくると思います。子どもの時はあまり深く考えすぎずにやりたいことを思いっきりやってほしいです。やりたいことをやる勇気をもって、自分で選んで、自分でやると決めたことを頑張ってください。自分の頑張り次第で結果がついてくると思います！



プロ野球選手 小澤 恵史さん

三島市出身（26歳）。現在、東京ヤクルトスワローズに所属（投手）。2015年ドラフト2位で福岡ソフトバンクホークスに入団しプロ入り。

小澤選手にとっての「三島市」

三島市で生まれ、子どもの時から野球が大好きで、1つ上の兄の後を追いかけて、小学校では「リトルジャイアンツ」、中学校では「裾野シニア」高校では「日本大学三島高等学校」で野球を続けてきました。三島市には18年間お世話になり、多くの仲間と恩師に恵まれ、美しい自然と心やさしい人たちにかこまれて野球に没頭することができたことにとても感謝しています。



どんな子ども・学生でしたか？

あまり自己主張が得意ではありませんでしたが、誰にも負けない気持ちの強さはあったと思います。割とコツコツやるタイプだったので、雨でも走れる「かわせみトンネル」でよく走り込みなどをしていました。夢はプロ野球選手でしたが、小・中学生時代の同級生には、自分より上手な子もたくさんいて、まさか夢が実現するとは思っていませんでした。

これからの目標は？

ヤクルトスワローズの一員として、リーグ優勝、そして日本シリーズを制覇して、三島市に元気を届けたいです。皆さん応援よろしくお願ひします！

小澤選手からメッセージ

地元を離れている今、改めて三島の素晴らしいを感じています。都会の感じがあり、自然も豊かな三島が一番素敵なか街だと思います。将来、三島市出身ということに誇りをもって、日本全国、そして全世界で活躍してください。上手くいかずに諦めそうになっても、そこでもうひと踏ん張り頑張ってみて欲しいです。夢に向かって続けることが大切だと思います。頑張ってください！

見上げた空のどこかに

「Mishima」^{みしま} という星があることを

知っていますか？

1991年2月8日、広い宇宙の中に、
それまでだれも見つけていなかった
光輝く小惑星が発見されました。

その小惑星には、「Mishima」^{みしま} という名前がつけられ、
今もこの空のどこかで輝き続けています。



▲2022年に秋山さんが撮影した小惑星「Mishima」

上の写真の24分後に同じ場所を撮影した写真が下の写真です。
動かない星（恒星）の近くで、右に少しだけ移動している星があります。これが小惑星「Mishima」です。「Mishima」はおよそ4年をかけて太陽のまわりを1周します。

※地球との距離：約3億km

※「Mishima」の大きさ：直径約10km

たくさんチャレンジして、失敗してもいい。
自分の目で本物を見て、
自分の手で作り、自分の体で経験してほしい。

子どものころから自分で作った天体望遠鏡を使って星座を探ることが大好きだった秋山さん。いつかは、「まだ見つけられていない星を見つけたい」と思い天体観測を続けてきました。

「Mishima」と名前をつけた理由 ~三島への想い~

三島市には15年ほど住んでいたことがあり、私にとって第二のふるさとと言える場所です。世界に誇れる素晴らしい街だったことから「Mishima」とつけました。また、発見に協力してくれた人たちが三島にはたくさんいて、その人たちへの感謝の気持ちを込めて名前を決めました。この夜空のどこかに『「Mishima」という星があるんだ』と、子どもたちに夢を持ってもらえたならうれしいです。



◆自宅に作った観測所で発見

一晩に30～40カ所の画像を望遠鏡で撮影し、恒星の中を移動する小惑星を探します。見つけたものを「小惑星センター（米国）」からのデータで確認すると、ほとんどが「発見済み」のものですが、根気よく観測を続けるとたまに「未発見の星」が写ってくれます。その「未発見の星」を何日も追跡撮影し、星の軌道が正確に決まるとき初めて「新小惑星」として認められます。それが最初の撮影から約2年後の1993年2月6日でした。



発見した小惑星に「Mishima」と名付けた
あきやま まきお
秋山 万喜夫さん

榛原郡金谷町（現：島田市）出身。
これまでに16個の小惑星を発見。
長年にわたり箱根の里が主催する
「星を観る会」で講師を務める。
東亜天文学会会員。裾野市在住。